

第43回



山口県総合芸術文化祭 2021

山口県高等学校総合文化祭



令和に刻む 文化の歴史 続け この思い

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定

向 川 栄 美 作 詞

乗 松 美 紀 作 曲



1. てをのば せば ほ ら き っ と だ れ か が さ さ え て く れ る
2. よびかけ れば ほ ら き っ と だ れ か が こ た え て く れ る



みーわ た せー ば ほ ら な か ま が い つ で も そ ば に い る き み
こ こ ろ を ひ ら け ば ほ ら な か ま は い つ で も ま っ て い る き み



は ひ と り じ ゃ な い さ あ あ る き だ そ う
は ひ と り じ ゃ な い さ あ あ は る き ば た そ こ う



ほ く ら の お ん か を つ く る た め ー に
ほ く ら の お ん か を つ き ず く た め ー に

全国高文連の歌

一、手を伸ばせば ほら

きつと誰かが支えてくれる

見渡せば ほら

仲間がいつでもそばにいる

君は一人じゃない

さあ 歩きだそう

僕等の文化を創るために

二、呼びかければ ほら

きつと誰かが応えてくれる

心を開けば ほら

仲間はいつでも待っている

君は一人じゃない

さあ 翔はばたこう

僕等の文化を築くために



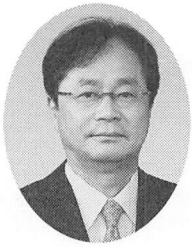
 山口県総合芸術文化祭 2021

第 43 回 山口県高等学校総合文化祭

総合開会式 プログラム

式典・慶祝演奏 13:30 ~ 16:00

期 日	令和 3 年 6 月 4 日 (金)
会 場	下 関 市 民 会 館
主 催	山口県・山口県教育委員会 山口県高等学校文化連盟
共 催	下関市・下関市教育委員会
後 援	山口県中学校文化連盟
主管校	山口県立下関南高等学校 山口県立下関中等教育学校



あいさつ

山口県教育委員会 教育長 繁 吉 健 志

第43回山口県高等学校総合文化祭が、「令和に刻む 文化の歴史 続け この思い」のテーマのもと、下関市民会館を主会場として開催されますことを、お喜び申し上げます。

高校生の皆さんは、昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大という予断を許さない状況の中、創意工夫し、的確に対応されながら文化芸術活動に勤しんでこられたことと思います。高い志をもって友人と協働しながら力強く取り組まれてきた活動の成果を、この総合文化祭という晴れの舞台で思う存分発揮してください。そして、参加された皆さん一人ひとりが、各部門相互の交流を深めながら、創造活動の向上をより一層図られることを願っています。

現在、県教育委員会では、「文化にふれあい親しむ環境づくりの推進」を施策の一つに掲げ、次代を担う皆さんの豊かな感性や創造力を育む文化環境づくりを推進しています。そのため、本総合文化祭をはじめとする文化活動を発表する機会や学校現場での優れた芸術にふれあう機会の提供に努め、また、県立文化施設等との連携による企画展や講座等の充実を図っているところです。

高校生の皆さん一人ひとりが、こうした機会等も利用されながら、自らが文化のつくり手であるという認識のもと、文化芸術活動に主体的に取り組み、感動体験を共有しながら文化の継承や創造に励まれることを期待しています。

結びに、本総合文化祭の開催に当たり、格別の御支援・御協力をいただきました地元下関市及び下関市教育委員会をはじめ、関係各位に対しまして、厚くお礼を申し上げますとともに、本総合文化祭の盛会と山口県高等学校文化連盟のますますの御発展を祈念いたしまして、御挨拶といたします。

あいさつ

山口県高等学校文化連盟 会長 大 村 勇



県下各地の高校生が織りなす文化の祭典「第43回山口県高等学校総合文化祭」の総合開会式が、ここ下関市で盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

昨年度はコロナ禍の中、総合開会式をはじめ、多くの部門で中止や規模の縮小を余儀なくされました。2年分の思いを、それぞれのステージの中で存分に披露してほしいと思います。大会のテーマは「令和に刻む 文化の歴史 続け この思い」です。高校生たちが、みずみずしい感性で自分らしく表現することにより、この令和の時代に文化の歴史を刻み、新たな担い手として成長してくれることを心から願っています。

今年度も、5月の将棋部門・小倉百人一首かるた部門の大会をスタートに、各部門別の大会や発表会が県内各地で開催されます。日々の努力の成果が十分に発揮され、この総合文化祭を通じて、友情の輪が広がり、高校生の文化創造の奥行きが深まることを期待しています。

また、7月には第45回全国高等学校総合文化祭が和歌山県で開催される予定です。参加する本県の生徒たちが、日頃の活動で培われた力を十分に発揮し、その集大成としてそれぞれの部門で一層の活躍をしてくれるものと思っています。

終わりに、本大会の開催にあたり、御支援を賜りました山口県、山口県教育委員会、地元下関市、下関市教育委員会をはじめ、準備運営に多大な御尽力をいただきました下関南高等学校、下関中等教育学校をはじめ、下関地区の関係各校に心から感謝を申し上げて御挨拶といたします。



あいさつ

下関市長 前 田 晋太郎

この度は、第43回山口県高等学校総合文化祭の総合開会式が本市で開催されますことをお喜び申し上げますとともに、下関市民を代表いたしまして心より歓迎申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響によりやむなく中止となってしまう、本大会を集大成にと目標にしてきた皆様にとってはどれほど落胆しているかと心配しておりました。

しかしながら、目標を見失うことなく、自主練習を重ね、新しい生活様式の中で合同練習の方法を工夫し、この大会に臨まれる皆様に敬意を表する次第であります。

文化芸術活動は多くの人に知って、聞いて、見てもらうものであり、それこそがこの大会の意義ではないかと思えます。

「令和に刻む 文化の歴史 続け この思い」というまさに今回の大会テーマのとおり、困難な状況だからこそ培われた力を、前回出場が叶わなかった仲間の思いも乗せて存分に発揮してください。

無観客という条件下になり、直接拍手や声援をお届けすることはできませんが、皆様のご活躍を心より楽しみにしております。

本市においても昨年は数々の伝統行事が中止となりましたが、各地域の文化や芸術を見つめ直す機会になったのではないかと私は捉えております。

現在は、ワクチン接種や経済支援などコロナ危機克服のために全力を注いでおりますが、収束後には、各地域から行事やイベントを再起動し、これまで以上に街のにぎわいを創出する決意であります。その時には、若い皆様の創造活動が欠かせませんので、引き続きご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

結びにあたり、ポストコロナにおける大会の開催という難題克服にご尽力いただきました関係の皆様には厚く御礼を申し上げますとともに、本大会のご成功と、ご参会の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

あいさつ

山口県立下関南高等学校 生徒会長 安 成 夢 叶



新型コロナウイルスの猛威により、当たり前だった日常が失われ、昨年は山口県高等学校総合文化祭の開催を断念せざるを得ませんでした。今年はリモート配信ではありますが、ここ下関市で、第43回山口県高等学校総合文化祭総合開会式を開催できますことを大変うれしく思います。

下関市は関門海峡を隔てて九州と対峙し、西および北は響灘・日本海、南は瀬戸内海に面し、三方を海に囲まれた風光明媚な土地柄で、多くの手付かずの自然が残っています。また、源氏と平家の最後の戦いの場となった壇ノ浦、関ヶ原の戦いの後に毛利氏によって開かれた城下町長府、宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘が行われた巖流島、幕末維新の時代には尊皇攘夷を巡る戦いが繰り広げられるなど、数々の歴史の舞台となって栄えてきました。現在でも街のいたるところで、歴史情緒あふれる風景を味わうことができます。

私は、文化とは人間と自然が長い年月をかけて、互いに手を取り合いながら育んできた歴史の権化といえるものだと思います。私は趣味で小倉百人一首かるたをしています、百人一首にも長い歴史があります。1000年以上前に、喜怒哀楽の情や自然の美しさを詠んだ和歌が現在に伝わって、多くの人々に親しまれています。コロナ禍で様々な制限がかかる中で、誰もがもどかしさを感じる日々ではありますが、わずかな時間の中でも、今の私たちが長い年月をかけて形成されてきた文化の一端に触れ、味わい、楽しむことが、未来の文化の発展につながっていくと思います。映像では会場の熱気や臨場感をそのままお伝えすることはできないかもしれませんが、鑑賞者の皆さんもぜひ一緒に充実した時間を過ごしてください。

次 第

1 式 典

- ◇開会宣言 山口県立下関中等教育学校 6 回生 平田 凌
- ◇ファンファーレ 「壇の浦」に寄せる哀愁的なファンファーレ “H E I K E”
～打楽器と 3 群の金管楽器による～（初演）
作曲 檜原 弘（山口県立豊浦高等学校）
【演奏】山口県高等学校文化連盟下関支部合同吹奏楽団
〈指揮〉松井 友介（早稲高等学校）
- ◇専門部紹介
(BGM『全国高文連のうた』：CD)
- | | |
|---|--|
| <p>◇主催者挨拶</p> <p>山口県高等学校文化連盟会長 大村 勇
山口県教育委員会教育長 繁吉 健志
山口県立下関南高等学校 生徒会長 安成 夢叶
下関市長 前田晋太郎</p> <p>◇歓迎の言葉</p> <p>◇来賓紹介</p> <p>◇表彰〔功 績 賞〕</p> <p>〔テーマ最優秀賞〕</p> | <p>○演劇○器楽・管弦楽○合唱○吹奏楽
○マーチングバンド・バトントワリング
○日本音楽・郷土芸能
○吟詠剣詩舞○美術・工芸○書道○写真
○囲碁○将棋○放送○文芸○自然科学
○小倉百人一首かるた（以上 16 部門）</p> <p>前山口県高等学校文化連盟会長 開地 元典
山口県立下関南高等学校 教諭 河合 和子
山口県立宇部高等学校 教諭 大田 和子
山口県立小野田高等学校 教諭 青池のぞみ
山口県立下関中等教育学校 6 回生 伊藤 美優</p> |
|---|--|

【進行】山口県立下関南高等学校

2 慶祝演奏

- ◇日本音楽 「夢の輪」 作曲 沢井比河流
【演奏】山口県立下関南高等学校箏曲部
- ◇マーチング 「トゥルーパー サリュート」
作曲 J. ボコック & B. リーズ
【演奏】山口県立長府高等学校吹奏楽部
- ◇合唱 「彼方のノック」
作詞 辻村 深月 作曲 土田 豊貴
「カンタータ『土の歌』より“大地讃頌”」
作詞 大木 惇夫 作曲 佐藤 眞
【合唱】山口県高等学校文化連盟合同合唱団
〈指揮〉田中 陸（野田学園高等学校）
〈伴奏〉田中 奏子
- ◇吹奏楽 「民衆を導く自由の女神」
作曲 樽屋 雅徳
【演奏】山口県高等学校文化連盟下関支部合同吹奏楽団
〈指揮〉檜原 弘（山口県立豊浦高等学校）

◇器楽・管弦楽

「交響曲第8番ト長調作品88」より第1楽章

作曲 A・ドヴォルザーク

【演奏】山口県高等学校文化連盟下関支部合同管弦楽団

〈指揮〉秋本 隆（山口県立下関南高等学校）

※1・2とも無観客。オンライン配信により下関南高校1年生・下関中等教育学校4回生が学校で視聴。

3 山口県高等学校文化連盟表彰者

(1) 優秀芸術文化賞

該当なし

(2) 功 績 賞

山口県立山口中央高等学校 前校長 開地 元典

令和元年度から2年間山口県高等学校文化連盟会長として本連盟の発展に寄与した。

山口県立宇部高等学校 教諭 大田 和子

平成23年度の自然科学部門創設時より9年間、専門部理事長として務め、部門の発展に寄与した。

山口県立下関南高等学校 教諭 河合 和子

平成25年度より8年間、書道専門部理事長として務め、部門の発展に寄与した。

山口県立小野田高等学校 教諭 青池のぞみ

平成25年度の小倉百人一首かるた部門創設時より8年間、専門部理事長として部門の発展に寄与した。

(3) 優秀指導者賞

該当なし

(4) テーマ最優秀賞

山口県立下関中等教育学校 6回生 伊藤 美優

「令和に刻む 文化の歴史 続け この思い」

応募総数 5校 473作品

4 慶祝演奏出演校

〔山口県高等学校文化連盟下関支部合同吹奏楽団〕

豊浦 早鞆 下関商業

〔山口県高等学校文化連盟下関支部合同管弦楽団〕

下関南 下関中等

〔山口県高等学校文化連盟合同合唱団〕

防府 山口 山口中央 萩 野田学園

各部門開催日程及び会場

◇将棋部門	5月22日（土）～23日（日）	防府市文化福社会館
◇小倉百人一首かるた	5月30日（日）	小野田高校
◇文芸部門	10月 8日（金）	宇部高校
◇囲碁部門	10月17日（日）	宇部高校
◇演劇部門	10月23日（土）～24日（日）	下関市民会館
◇放送部門	11月 6日（土）	山口県健康づくりセンター
◇書道部門	11月 6日（土）～7日（日）	おのだサンパーク
◇美術・工芸部門	11月12日（金）～14日（日）	周南市美術博物館
◇写真部門	11月12日（金）～14日（日）	周南市美術博物館

表紙絵：下関南高等学校 3年 中 川 いおり

令和3年度 山口県高等学校文化連盟役員

職 名	氏 名	支 部 ・ 専 門 部	所 属 校
会 長 副 会 長	大 村 勇 杉 山 昌 史 徳 田 充 藤 部 秀 則		山口中央高校 岩国高校 徳山高校 宇部フロンティア大学付属香川高校
参 与	木 村 香 織		山口高校
支 部 長	杉 山 昌 史 高 橋 等 徳 田 充 小土井 実 辻 岡 博 之 山 田 哲 也 竹 村 和 之	岩国支部 柳井支部 徳山支部 山防支部 宇部支部 下関支部 長北支部	岩国高校 柳井高校 徳山高校 防府高校 宇部高校 下関西高校 萩高校
専門部会長	村 田 修 一 清水 利 宏 辻 岡 博 之 宮 木 由紀子 古 谷 方 正 (休部) 古 谷 方 正 辻 岡 博 之 高 橋 等 金 石 芳 朗 小 野 倫 代 木 村 香 織 辻 岡 博 之 山 田 哲 也 待 辻 水 清 信 木 村 香 織	演劇部門 合唱部門 吹奏楽部門 器楽・管弦楽部門 日本音楽部門 吟詠剣詩舞部門 郷土芸能部門 マーチングバンド・バトントワリング部門 美術・工芸部門 書道部門 写真部門 放送部門 囲碁部門 将棋部門 小倉百人一首かるた部門 文芸部門 自然科学部門	光高校 野田学園高校 宇部高校 下関南高校 宇部鴻城高校 休部 宇部鴻城高校 宇部高校 柳井高校 美祢青嶺高校 周南総合支援学校 山口高校 宇部高校 下関西高校 慶進高校 宇部高校 山口高校
専門部理事長	石 田 千 晶 田 中 睦 陸 中 村 亮 秋 本 隆 古 田 正 彦 (休部) 古 田 正 彦 中 村 亮 島 田 憲 貢 鏡 証 子 尾 崎 勝 利 向 井 俊 恵 真 當 良 洋 堀 達 也 藤 野 恭 平 廣 永 幸 恵 石 田 純 一	演劇部門 合唱部門 吹奏楽部門 器楽・管弦楽部門 日本音楽部門 吟詠剣詩舞部門 郷土芸能部門 マーチングバンド・バトントワリング部門 美術・工芸部門 書道部門 写真部門 放送部門 囲碁部門 将棋部門 小倉百人一首かるた部門 文芸部門 自然科学部門	光高校 野田学園高校 宇部高校 下関南高校 宇部鴻城高校 休部 宇部鴻城高校 宇部高校 柳井高校 美祢青嶺高校 周南総合支援学校 山口高校 宇部高校 下関西高校 慶進高校 宇部高校 山口高校
監 事	藤 村 慎一郎 原 井 進		防府商工高校 西京高校
事務局長 事務局員(総務) 事務局員(会計) 事務局員(庶務)	西 村 正 浩 黒 瀬 高 志 佐々木 靖 子 丸 山 智 子		山口中央高校 山口中央高校 山口中央高校 囑託

専門部紹介

〔演劇〕

演劇専門部では、100名を超す部員が一堂に会し、大道具、発声、劇作等、様々な分野の専門家から学ぶ演劇講習会と、各学校が独自に60分の舞台を作り上げ、周防、山防、宇部、下関の4地区に分かれて、最優秀校2校を県大会に推薦する地区大会、地区の最優秀校が集まって開催される県大会、県代表が集まって開催される中国ブロック大会、そのブロック大会2位が集まる年度末の全国春季研究大会、ブロック大会最優秀が集まって翌年夏に開催される全国総文祭があります。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、演劇講習会と地区大会が中止になりました。代わりに、10月の県大会を東西2会場に分けて、加盟校全校が参加して無観客で上演し、それぞれのトップを中国大会に送り出しました。観客とライブで心の化学反応を起こすことが演劇の醍醐味ですから、各校が工夫を凝らして創り上げた60分の作品を無観客で上演せざるを得なかったことは非常に悔しく残念でした。しかし、一部の学校の上演はメモリアル文化発表会としてネット配信していただきました。さらに、12月の中国大会に進んだ華陵高校、下関中等教育学校のうち、華陵高校が最優秀賞を受賞し、今年8月に和歌山で開催される全国総文祭の出場を決めました。全国の舞台で、素晴らしい上演がなされることを祈っています。また、演劇の大会には講評部門もあり、高校生が創った劇を、同じ高校生が観て感動や問題を共有し、意見を交わして理解を深め合います。昨年度は光丘高校と宇部高校の部員が中国大会に出場し、優れた講評を行いました。



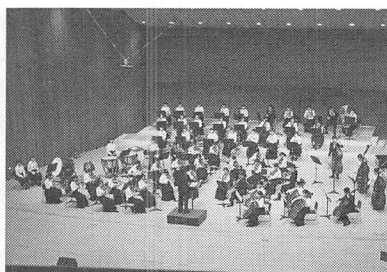
〔器楽・管弦楽〕

この部門にはギター・マンドリン合奏や弦楽合奏そして管弦楽活動を部活動としている各高等学校と中等教育学校の計7校が参加しています。

県内の演奏会としては、この総合文化祭の他にスプリングコンサートを独自に開催しています。昨年度は、防府市公会堂にて新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため無観客での開催となりました。今年度は、下関市生涯学習プラザで3月下旬に開催する予定です。

全国高等学校総合文化祭へも毎年参加しており、昨年度は防府高校が高知 Web 総文祭に参加し、心のこもった演奏を披露してくれました。各県を代表する中で、音楽性に満ちた演奏はとても印象深く、改めて山口県の器楽・管弦楽部門のレベルの高さを認識した次第でした。

今年度は和歌山県で開催される全国総文へ、昨年度に引き続き防府高校が参加する予定です。素晴らしい演奏を披露してくれることを大いに期待しています。



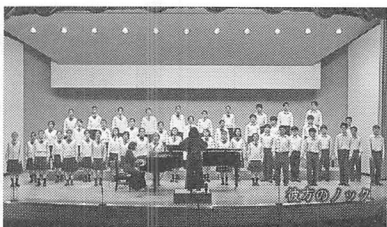
〔合唱〕

「令和に刻む 文化の歴史 続け この思い」のテーマのもと、私たち合唱部門は総合開会式に山口県高等学校合唱団として参加します。

合唱練習は現在も様々な制約がかかり困難を極めますが、今日の演奏のために各高校で練習を重ねてきました。残念ながら例年のように県下の合唱部員全員での演奏は叶いませんが、この場に立てない仲間の分まで、この会場で歌える喜びをかみしめ、皆様に「感動」を届けたいと思います。

また、8月に和歌山県で行われる全国総合文化祭には萩高校が参加する予定です。この大会を通して、全国の合唱仲間との交流を深め、輪を広げていってほしいと願っています。

まだしばらくの間、これまで通りの合唱活動は難しいかもしれませんが、今後も歌うことの楽しさ、合唱の素晴らしさを伝え、山口県の合唱文化が益々発展してゆくよう努力してまいりたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。



〔吹奏楽〕

県内はもちろん、全国的にも加盟校・加盟者数が最も多いのは吹奏楽部門です。その活動は多岐にわたりますが、いずれの団体も、大きく2つの目標を持って活動に取り組んでいます。1つは、年間を通して行われる各種大会において、悔いのない演奏をし、目標とする「記録」に向かって精進すること。もう1つは、吹奏楽を愛してくださるお客様と時間を共有し、お客様の「記憶」に残る演奏ができるよう、努力を重ねることです。これら日々の活動成果を発表する場である山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会は、毎年県内50を超える団体が参加し、互いの演奏に刺激を与え合うとても良い機会となっています。今年度は昨年度に続き、演奏を聴き合うことはできませんが、一日も早く、例年通りの演奏会が開催されることを願っています。



また、今年度令和山県和歌山市で行われる全国高等学校総合文化祭には、山口県を代表して中村女子高等学校が参加する予定です。悔いのない、素晴らしい演奏を披露してくれることを期待しています。

〔マーチングバンド・バトントワリング〕

マーチングバンドは、吹奏楽の楽器を演奏するバンドと、打楽器担当のバッテリーが、演奏しながら曲想にあった動きで、様々な隊形を作っていきます。フラッグや手具を使って踊るカラーガードや、指揮者の近くで鍵盤楽器などを演奏するピットインパーカッションなども加わるとさらに華やかになり、目でも耳でも楽しめるショーになります。また、バトントワリングは、バトンと呼ばれる両端にゴム製のおもりをつけた金属の棒を回したり、空中に投げたりするパフォーマンスのことを指します。音楽・ダンス・バトンの動きが三位一体となり、ステージを豊かに彩ります。



この部門で活動する県内団体は年々減少しており、寂しくなっておりますが、近年研修会を再開し、県内での活動促進を図っています。現在、毎年の全国総合文化祭への参加も滞っていますが、近い将来、山口県から全国総合文化祭への参加団体が出てくることを目指し、研修会をはじめ、種々の活動を積極的に行っていきたいと思います。

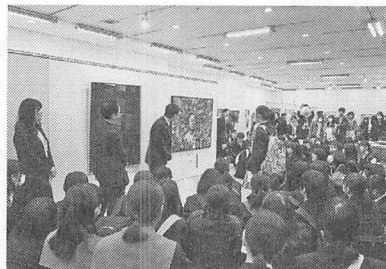
〔日本音楽・郷土芸能〕

日本音楽・郷土芸能部門は、箏曲・創作太鼓・郷土芸能・長唄三味線の各部で構成されており、現在17校が活動しています。日本の伝統文化そして和楽器の素晴らしさを実感しながら、その後継の一端を担っているという誇りを持って日々練習に励んでいます。一言で「日本音楽」と言っても、古典曲から現代のポップス、ダイナミックな太鼓演奏まで、演奏曲目は様々です。箏や三味線の美しい音色、そして胸を打つ太鼓の響きに、高校生の若い感性とひたむきさを感じていただけるように懸命に練習に励んでいます。



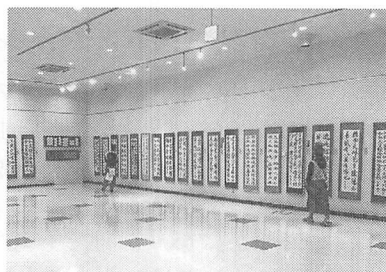
〔美術・工芸〕

美術・工芸部門の活動には、多様な表現活動があります。絵画、版画、デザイン、工芸、彫刻、映像の各分野で、色々な素材や画材でさまざまな表現手法を駆使した作品を創造・制作しています。例年、秋には県大会となる美術・工芸部門の作品展を県内の5つの地区をローテーションさせて開催しており、今年度は、11月12日～14日にかけて周南市美術館で開催されます。毎年、県内各校の美術・工芸に類する部活動から100点を超える力作が集う、レベルの高い展覧会となっています。作品は制作者の発想や構想、それぞれの思いがしっかりと込められたものばかりで、多くが一辺1mを超えるような大作です。会場に展示された作品をご鑑賞いただき、そこから伝わってくる制作者それぞれの表現へのこだわりや情熱、苦労の痕跡をご堪能ください。また、展覧会ではお互いの作品を鑑賞し、交流と親睦を深め、創造の喜びを共感していただければと思います。



〔書道〕

書道部門の最大の行事は、毎年秋に開催される県総合文化祭です。今年度もおのだサンパークにて、11月6日、7日に開催されます。次年度8月の全国総文祭につながるコンクールでもあり、この大会に向け各学校の部活動や生徒研修会で腕を磨き、作品制作に取り組みます。技術を習得して、自分なりの表現することを目標に、条幅の作品を仕上げます。作者によって表現は様々です。ぜひ作品展にお越しいただき、私たちの表現を見てください。



〔写真〕

写真専門部の活動の中心となるものは、県高等学校総合文化祭での作品展示です。この作品展示にともなう審査の結果により、次年度夏の全国総文への出品作品が決定します。展示作品の審査と、県総文最終日の撮影研修の講師を、日本写真家協会会員の現役プロカメラマンに依頼しております。研修会と講評会において参加生徒はレベルの高いプロの眼からのアドバイスや指導を直接受けることができます。2月にも各校写真部から提出された作品に、プロカメラマンが直接、講評コメントを書き込んだものを受け取る、という研修会を行いました。これらの取り組みにより、写真部生徒・顧問の写真の撮影・作品製作の技術向上を図りたいと考えています。今後もしできる限り、山口県の高校写真部のレベル向上を目指した取り組みを続けていきたいと思っています。



〔囲碁〕

〔文化〕

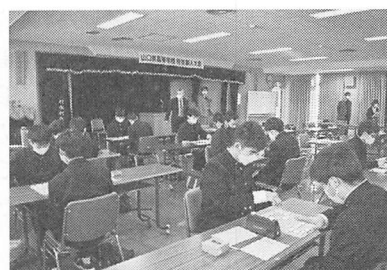
今年の囲碁部門の県大会は、10月に行われ、段級位認定戦と代表決定戦とに分かれています。段級位認定戦では、戦績に応じて段や級の認定状を取得でき、代表決定戦では中国大会と全国大会の代表を決定します。中国大会には、男女団体に各1校（3名）、男子個人戦に6名、女子個人戦に3名まで出場できます。今年の中国大会は、12月に島根県で開催されます。また、全国大会には、男女混成の団体戦に3名、男・女個人戦に各1名、計5名の生徒が県代表として出場することになります。今年の県大会では、来年の8月に東京都で行われる全国大会の代表を決定します。



囲碁は約2000年の歴史があり、世界的にも愛好家が増えています。各種のボードゲームの中でも優れた知的ゲームであり、頭脳のスポーツです。初心者でも高校の2年あまりで段位を取得するまでになることができ、中国大会や全国大会の代表になることもできます。初心者の方もどうぞ各学校の囲碁部に入部してください。また、囲碁部のない学校からも大会に参加することはできますので、気軽に大会に参加してみてください。

〔将棋〕

昨年度は、高校生プロの藤井2冠が将棋界以外でも大きな話題となりました。最近の将棋ブームの中、山口県も全国アマチュア大会での活躍が続いています。特に2019年度は、慶進高校の山村君が県内高校将棋界初の全国優勝を果たしました。

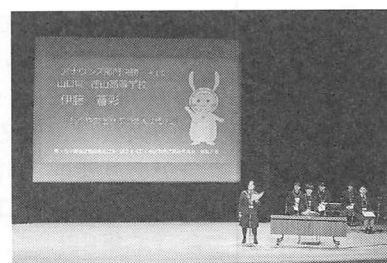


昨年度は、新型コロナウイルスのため、多くの大会が中止されました。その中で、各方面の皆様のご協力のもと、11月1日には専門部の研修会を兼ねて第26回山口県高等学校将棋新人大会を防府市で開催しました。また、本県主催で、第20回中国地区高等学校将棋選手権大会を徳山高校で開催しました。一部予定変更がありましたが、無事実施できました。今後もコロナ禍での感染防止に注意し、大会を実施していきたいと考えています。

今日、情報通信をめぐる技術革新の波は将棋文化にも新しい風を吹き込んでいます。伝統的な文化と現代的な技術が反映された将棋文化を、皆さんも体験してみませんか。

〔放送〕

放送部は、アナウンス・朗読の読みの部門に加えて、ラジオやテレビのドキュメンタリー、ドラマの制作を行っています。取材の中で味わった感動をしっかりと伝えるために、私たちは発声練習や滑舌練習、インタビューや映像・音声の編集技術の向上のため、日々地道な努力を重ねています。また、放送部の大会は、お互いがライバルであると同時に、たくさんの感動を分け合う素晴らしい仲間との出会いの場でもあります。他校の作品や読みに触れ、互いに切磋琢磨することで、お互いに高めあうこともできます。

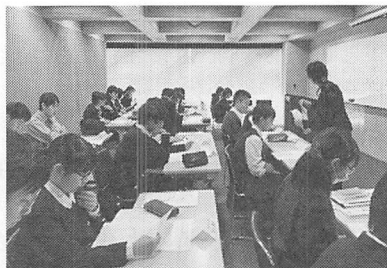


山口県勢は、近年NHK杯全国高校放送コンテストや全国総合文化祭で、上位入賞を果たしています。メディアの発達により、幼いころから様々な表現に囲まれて育った現代の高校生は、表現者としてもたくさんの可能性を秘めています。多くの仲間と、自分の表現で感動を伝えませんか？あなたの参加を待っています。

〔文芸〕

文芸専門部では、小説・詩・短歌・俳句・イラストなど、自分の得意分野で創作をしたものを、各校それぞれ自由な体裁で文芸誌にするという活動をしています。対外的には山口県文芸コンクール、中国文芸コンクール、全国文芸コンクールと自分の力を試す機会もたくさんあります。山口県コンクールの各部門の上位入賞者は、次年度の全国総合文化祭や中国文芸道場に推薦されて参加しています。そこでは各地から選ばれた生徒たちと交流する機会があり、参加者した生徒さんたちは、フレッシュな刺激を受けることができるので、さらに創作意欲が湧くと大変好評です。そのほか、夏井いつきさんがかかわっている俳句甲子園にも毎年参加しています。

みなさんも一緒に創作活動をしてみませんか。



〔自然科学〕

自然科学部門は、平成23年6月に山口県高文連15番目の専門部として誕生しました。昨年全総文祭「2020 こうち総文」には、下関西高校、宇部高校が口頭発表で、高川学園高校がポスター部門で参加しました。Web SOUBUN という形にはなりましたが、どの学校の生徒も主体的に研究に取り組み、その結果を自分たちなりに工夫してまとめ、発表しました。今年は和歌山県で行われる全総文祭に、下関西高校、徳山高校、高川学園高校、宇部高校が参加する予定です。

自然科学専門部は、それぞれの高校で日頃から地道に自然科学探究を行っている部活動の成果を全国で発表する場を提供し、研究を発展させる目的で設置されました。

自然科学部のみなさん、自分たちの研究を全国の舞台上で発表してみませんか。



〔小倉百人一首かるた〕

小倉百人一首かるた部門は、発足して今年度で9年目となりました。近年、競技かるたの人気の全国的に高まっています。それに伴い、山口県内の競技かるた選手の人口も年々増加し、専門部の活動の幅も広がっています。

かるた競技は、「畳の上の格闘技」といわれています。静寂と美しい日本語の調べのなかで自己と向き合う高度な集中力と記憶力、相手に勝る瞬発力、そして常に冷静な判断をしながら、長時間の対戦に耐え得る体力と精神力が求められる厳しい競技です。また気品ある振る舞いも必要です。選手たちは、日々厳しい稽古に取り組んで、技術だけでなく、人間性も磨いています。

かるたの夏の全国大会は、かるたの聖地として有名な滋賀県大津市の近江神宮での高校選手権大会と全国高校総文の2つがあります。昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大のため全国大会が実施されませんでした。中国大会では、山口県立小野田高等学校が優勝という好成績を収めました。

かるたに向き合っている選手の顔は、とても熱く輝いています。山口県から、未来のかるた名人・クイーンが育つことを期待しています。

